

H27



# F o r e s t 通 信 3

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.313

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**

「春が来たよ！」

## エナガ(エナガ科)

野鳥の世界で「可愛さコンテスト」を行った場合、確実に上位に入るのがこのエナガではないでしょうか？

写真は、梅の花近くに止まるエナガに出会い、あまりにも美しい青空を背景だったので思わず撮影しましたが、人間と同じで、長い冬の間を耐え、春の陽光を浴びた嬉しさを全身で表しているようですね！

エナガは体長13.5cm、ジュリリとかジュルルッなどと鳴くので、その存在がわかりますので、この春はエナガ探しをしてみたいはいかがでしょうか？

今月の一句

「梅の香に春よ春よと舞うエナガ」

(写真・文 大作栄一郎氏)



## いろはの森

珍しくぽかぽか陽気になった2月下旬の休日。自宅の近所を散歩していた時、花の香りがほのかに漂ってきたので見上げると、小学校脇の小さな梅の木のつぼみが開いていました。

私の故郷の名物に「梅ヶ枝餅」というお菓子があります。薄いお餅の間にあんこを挟んで焼いたもので、表面には梅の焼き印が入っています。その名前は太宰府天満宮の菅原道真公の逸話にちなんだもので、勘違いされやすいのですが梅は入っていません。皮がぱりっと香ばしく焼けていて大変美味しく、身近なおやつとして昔から愛されています。

3月に入ると、桜餅をはじめ春の和菓子が出揃い、一気に季節が変わったことを実感します。四季がはっきりしている日本ならではの、と感謝しつつ毎年その恵みを胃袋で享受しています。

高尾山は蕎麦で有名ですが、お団子の激戦区でもあります。麓の参道はもちろんのこと、山道に沿って並ぶお店はそれぞれ特色のあるお団子を売り出し、登山客の楽しみの一つとなっています。

梅が終わるとじきに桜の季節がやってきます。「花より団子」といわれますが、各店食べ比べてみるなど、春の高尾山グルメを楽しまれてはいかがでしょうか。(ま)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

## 森林カレッジV 炭焼・そして森林の香り

平成27年2月7日(土)に森林カレッジVを開催しました。前々日に降った雪が林道に数センチ積もってはいましたが、さほど影響がなく、受講生も無事炭焼き小屋まで集合することができました。

開会式の後に、地面を掘って作った窯「伏せ焼き」1箇所と、ドラム缶を利用した窯2箇所の3班に分かれていただき、伏せ焼きにはスギ、ドラム缶窯には竹を詰め炭焼きを行いました。

午後からは、東大名誉教授の谷田貝光克先生の「森林の恵みと共に～炭焼き、そして森の香り～」と題した講義を行いました。

炭の種類・構造・新たな用途の説明、木酢液には抗菌・抗ウイルス作用・植物成長促進作用などがある、木においては気分を和らげストレスを低減する、スギの香りは胃潰瘍を抑える・咳を抑える・睡眠効果を高める・花粉症・アトピーのかゆみを止めるなどの効果があり、材は水車・線香・樽などに昔から使用されているなどの内容を、受講生はメモをとりながら興味深く受講しました。



ドラム缶窯

その後、マツボックリや受講生が持参した木の实等を花炭にしました。受講者からは、「炭の効用が広いのに驚いた」「幅広い森林の効用の話は大変ためになった」「スギの詳しい説明が良かった」「学習と実践がセットで良い組み合わせだった」「花炭が成功して良かった」など感想をいただき、好評のうちに1日の日程を終えました。



矢田貝先生の講義



花炭もきれいに仕上がりました



伏せ焼き窯



カレッジ修了式の様子

その後  
窯出ししました





## 小学生の炭焼体験



平成27年2月16・17日、多摩市立連光寺小学校5年生74名が森林総合研究所の連光寺実験林で、24・25日に八王子市立上川口小学校6年生9名・5年生9名が、小学校の裏庭で炭焼きと森林学習の森林教室を開催しました。

挨拶と炭焼きの説明の後、それぞれの班に分かれて、唐グワやスコップを使って窯作り（穴掘り）から始めました。センター職員が焚き口を作った後、皆で竹を積み、枯れ葉で覆ってトタンをかぶせ、その上に土をかけて窯の完成です。

いよいよ焚き口に置かれた薪火を団扇であおぎ、熱を送り込む作業を交代しながら続けると、煙突から煙りがもくもくと。土の隙間から出てくる煙の箇所を泥団子でふさぐのですが、皆大喜びしながら作業に没頭していました。

松ぼっくりの花炭です



昼食を取り、森林学習の講義を受け、その後連光寺小学校は花炭作りも体験しました。

翌日はいよいよ窯出しです。窯の土を取り去り、さらに落ち葉を取り除いていくと次第に竹炭が姿を現し歓声が。交代で竹炭を取り出し、トタン板の上に広げていくと、トタンに入りきれない位の量になり、大切そうに持ち帰っていきました。

閉校式では、家に帰ると「煙くさい!」と、怒られたと言う児童もいましたが、多くの子は「楽しかった」と言ってくれました。「森林の大切さ」について興味を持ってもらえたようです。



がんばれ～



たくさん炭が取れたよ!

## 平成26年度 森林・林業技術等交流発表会

平成27年2月19、20日の2日間にわたり、関東森林管理局で開催された、「平成26年度森林・林業技術等交流発表会」に、高尾森林ふれあい推進センターから、森林ボランティア団体フォレストサポート・高尾（以下FS高尾とする）の渡部代表、秋山事務局長、当センターの非常勤職員でもある日比さんが発表者として参加しました。

題目は、「高尾山における森林環境教育の協働事例」で、当センターとFS高尾との協働内容を紹介するものです。

発表者の日比さんは、近年当センターが実施している森林環境教育の内容を紹介し、FS高尾との協働体勢や、森林環境教育の現場における協働の重要性、現在の問題点やこれからの取り組みなど、図表や写真、実例を交えて発表し、さらに、理想とする「持続可能な森林環境教育」について語りました。

発表後の質疑応答では、傍聴者の質問にわかりやすく応え、発表内容についてさらに理解を深めていました。

惜しくも入賞は逃しましたが、よりよい協働関係を模索する絶好の機会となりました。

発表に参加されたFS高尾のみなさん、本当にお疲れさまでした。



演台に立つFS高尾のみなさん



質疑応答に答える渡部代表と秋山事務局長

## 職場体験

### 八王子市立 ひよどり山中学校

3月3日(火)・4日(水)の両日、八王子市立ひよどり山中学校の3年生3名が職場体験に訪れ、二ホンジカ等の生息調査用定点カメラの巡視・電池交換、炭窯の窯出し、施設の環境整備等に加え、インターネットを利用して林野庁や森林・林業等について学習しました。

学生の感想では、「赤外線カメラの交換は興奮した」「森林や木の大切さを知り、より自然が好きになった」「3年間の職場体験の中で一番楽しかった」など、新しい自分を発見されたようです。



定点カメラの保守作業体験



事務室内にて



## 編集後記

2月下旬くらいから、高尾でもちらほら花粉が飛び始めました。毎年様々な対策を練るのですが、去年はべにふうき茶が症状を軽減してくれました。

今年も引き続き、更なる研究と人体実験に努めます。(ま)

## 森林ボランティア

### 「フォレストサポートスタッフ」 の募集について

#### ～官民協働で子どもたちの

#### 森林環境教育等をサポート！～

林野庁関東森林管理局では、高尾森林ふれあい推進センターが実施する森林教室や体験林業等のイベント実施に当たり、イベントをサポートしていただけるスタッフを公募して「フォレストサポートスタッフ」として委嘱することとし、この度新規に10名(予定)を委嘱することといたします。

ただし、正式な公募開始は、平成27年度の予算成立以降準備整い次第とします。

#### 1. 制度の概要

森林管理署等において森林教室や体験林業等の実施に当たり、森林・林業や森林環境教育に造詣を有する者や、イベント等の実践を通して森林・林業や森林環境教育の研鑽に努める者にイベントスタッフ(名称「フォレストサポートスタッフ」)を関東森林管理局長が委嘱する制度で、平成26年度から全国に先駆けて新たに創設した制度です。委嘱期間は原則として1カ年です。

#### 2. 高尾森林ふれあい推進センターでの委嘱証授与について

- (1) 日時：平成27年4月下旬以降準備整い次第
- (2) 場所：高尾森林ふれあい推進センター

#### 3. 活動開始月日

4月下旬以降の小学生を対象とした森林教室から活動を開始する予定です。

★お問合せは、高尾森林ふれあい推進センター、担当：梶井・木皿までお願いいたします。

## Forest通信 No.313

発行：高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントの  
お申込み・お問合わせ先



林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター  
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1  
TEL 042-663-6689 IP電話 050-3160-6040  
FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>